プレスリリース

約 60 カ国の人々が住むまち、大阪・生野区を全№1 のグローバルタウンへ！
御幸森小跡地に『いくのコーライブズパーク』が 2022 年秋オープン
クラウドファンディング開始！

NPO 法人 IKUNO・多文化ふらっと(代表：森本宮仁子、榎井縁、本部：大阪市生野区）と株式会社 RETOWN（代表：松本篤、本社：大阪市生野区）は、共同事業体として大阪市立御幸森小学校跡地に生野区における多文化共生の新拠点『いくのコーライブズパーク(略称：いくのパーク)』を 2022 年秋にオープン予定です。いくのパークは、大阪コリアタウンから徒歩 1 分と近く、多くの来場者が予想され、注目の複合施設となります。この新たなまちづくりのモデルとなる本プロジェクトを推進すべく、6 月 20 日よりクラウドファンディングを開始しました。

本件のポイント

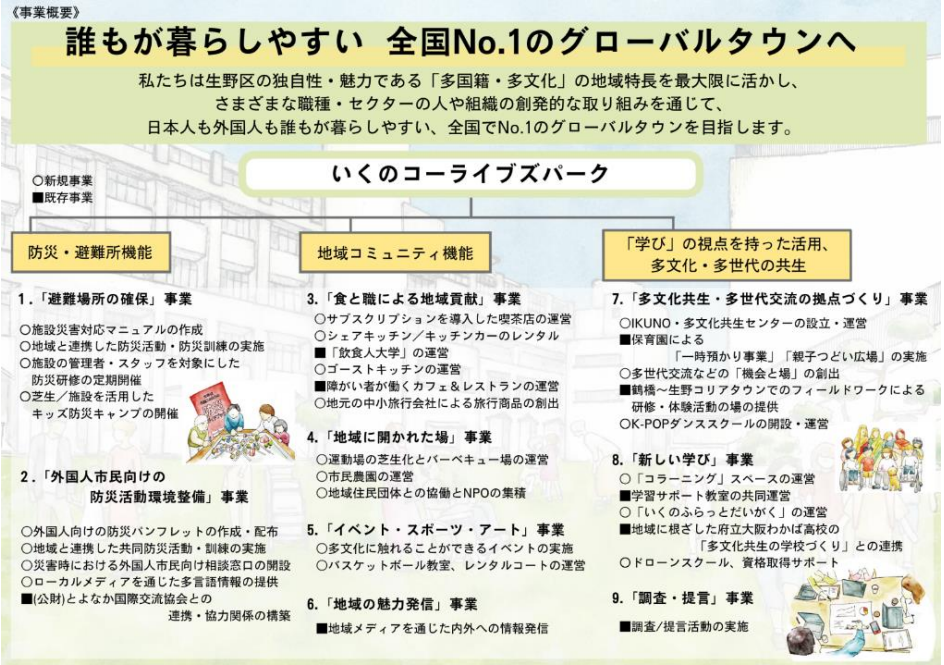
〇外国人市民向けの防災活動、食と職による地域貢献事業、子ども・多世代が集まる学びの場づくりなど、地域課題解に向けた 9 つの事業を実施

〇小学校跡地を多文化共生の新たな拠点に生まれかわらせるため、6 月 20 日よりクラウドファンディングを開始

〇企業と NPO の共同事業体による新たなまちづくりのモデル

クラウドファンディング URL:　https://camp-fire.jp/projects/view/582836

１、「多国籍・多文化」の魅力を生かし、地域の問題を解決する９つの事業



２、新たな多文化共生の拠点オープンを目指し、クラウドファンディングをスタート

学校というものから新しい施設に生まれ変わらせるためには、大きな設備改修が必要です。気が付けばここにみんなが集まっていた、そんな居心地の良さを目指し、クラウドファンディングを始めました。

・期間：6 月 20 日（月）～8 月 15 日（月）
・目標金額：300 万円
・資金の使い道

☆**みんなが集える場所を作ります**

- 運動場を芝生化
- 市民農園で多国籍の植物を栽培

→老若男女、国籍問わず誰でも立ち寄りやすく、自然に人々が集う空間をつくります。

☆**多文化・多世代のサポート窓口を開きます**

- IKUNO・多文化共生センターの設立、運営
- 社会福祉法人による保育施設の運営
- 貧困および外国ルーツの子どもたちの学習支援

→外国籍住民や、社会的に孤立しがちな子育て中の親子への生活上の総合的なサポートを実施します。

☆**全国 No.1 のグローバルタウンに！**

- 多国籍の料理を楽しめるイベント
- シェアキッチン、キッチンカーのレンタル

→多国籍の新規飲食事業の発掘と、常設店舗のオープンをサポートすることで、日本で一番多様な食文化を楽しむことができる「全国 No.1 のグローバルタウン」を実現します。

3、企業と NPO の共同事業体による新たなまちづくりのモデル

本施設は、多文化と触れ合えるイベントの開催や生野区内で食に特化した起業支援などを通して、多様な文化を感じられる店舗の増加、それに伴う空き家利用や地価を向上させる事で、まち全体の価値を上げる事を目指します。 また、多文化ソーシャルワーク実践や学習支援などを通して、生野区内の他国間コミュニケーション及び新たな学びの場の創出など、生野区が抱える課題解決に取り組んでいきます。 企業と NPO が共同事業体として協働することで、それぞれの得意分野を掛け合わせ、より地域に根差した持続可能なモデルを生み出すことができると考えています。

«背景»

◆ 5 人に 1 人が外国人！？
約 60 カ国の人々が暮らすまち、生野の魅力と課題

大阪・生野区はコリアタウンというイメージが強くありますが、実は区民の 5 人に 1 人が外国人であり、その人口比率は群馬県大泉町に次いで全国 2 位、都市部では外国人の人口比率が最も高いまちと言えます。さらに、54 ヵ国（令和 4 年 5 月末時点）の人々が暮らしており、まさに多文化なまちです。とても魅力的な地域ですが、生野には多文化・多国籍ならではの課題があります。各国の外国人コミュニティーが多数存在しており、それぞれの文化を発表する場を設けるなど独自の発展をしている一方で、他国間のコミュニケーションが希薄となり、災害時や子育て等において孤立している現状があります。また、外国にルーツのある子どもたちが学校に通う上で語学の壁があり、十分な教育が受けられていないという課題もあります。大阪市ではそうした子どもたちをサポートするために、日本語・適応指導や教育相談を実施しています。しかし、該当する子どもたちが増加し個別の対応が不十分になりつつあるため、現在でも課題の解決には至っていません。

■全国市区町村の外国籍住民比率

順位	市区町村	外国籍住民比率（%）
1	**大阪市生野区**	**21.75**
2	群馬県大泉町	18.84
3	北海道占冠村	16.96
4	大阪市浪速区	13.17
5	東京都新宿区	10.96
6	横浜市中区	10.82
7	名古屋市中区	10.56
8	埼玉県蕨市	9.92
9	大阪市西成区	9.49
10	群馬県邑楽郡	9.35

総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」(2021 年 1 月 1 日)をもとに作成

◆廃校が多文化共生の拠点になるまで

2017 年 1 月、生野区西部地域学校再編整備計画により、12 小学校・5 中学校を 4 小学校・4 中学校に統合再編することが決定しました。その第 1 校目として、2021 年 3 月に御幸森小学校が閉校。そして 2021 年 9 月に実施された御幸森小学校跡地活用事業の公募型プロポーザルに「株式会社 RETOWN」と「NPO 法人 IKUNO・多文化ふらっと」との共同事業体の提案が採択されました。御幸森小学校は約 100 年もの歴史があり、韓国朝鮮にルーツを持つ子どもたちが多く、大阪市初のユネスコスクールでもあり、世界各国の様々な文化を学ぶ『多文化共生教育』に励んでおりました。この御幸森小学校の歴史を大切にしながら地域の課題を解決すべく、私たちは 2021 年に廃校となった御幸森小学校をリノベーションし「いくのコーライブズパーク（略称：いくのパーク）」をオープンします。生野区の多国籍・多文化だからこそ抱える課題を「いくのコーライブズパーク」というみんなに開かれた新たな多文化共生の拠点として解決を目指していきます。

«株式会社 RETOWN 会社概要»

『食を通じたまちづくり』や『まちづくりの産業化』をビジョンに掲げ、まちが本来持っているポテンシャルを再編集し発信する拠点づくりを行うローカルディベロッパー事業や、産地と消費者を直接繋ぐ産地活性化事業に取り組んでいます。大正区尻無川沿いの水辺空間を活用した複合施設『TUGBOAT_TAISHO』をはじめ、まちが変わるきっかけづくりにチャレンジしています。

代表取締役：松本 篤
所在地：大阪府大阪市生野区桃谷 5 丁目 5－3 7いくのパーク講堂棟 3F
設立：2004 年 7 月 22 日
事業内容：ディベロッパー事業、教育事業、人材紹介事業、外食事業、フランチャイズ本部事業
グループ会社：株式会社 RETOWN・株式会社 EATTOWN・株式会社 THE MARKET 株式会社 Osaka Riverside Resort・株式会社 TUGBOAT TAISHO・CiX ホールディングス株式会社・株式会社 LOCAL LABO・株式会社 MACHI-CO-BA
HP アドレス：http://retown.co.jp

«NPO 法人 IKUNO・多文化ふらっと 団体概要»

「誰一人取り残さない」多文化共生のまちづくりを目指し、地域社会、学校・大学、企業、行政など、さまざまな領域間の相互乗り入れを通じて、「Please help me.」（私を助けてください）に応えられる地域における「共生のとりで」づくりに取り組んでいます。これまで地道に行ってきた外国ルーツの子どもの学習支援や子ども食堂に加えて、地域に開かれた子育て支援の場となる図書室や多世代交流の体験農園、多文化共生センターの設置・運営に向けて準備中。

代表理事：森本宮仁子、榎井縁
所在地：〒544-0034 大阪市生野区桃谷 4 丁目 5 番 15 号班家食工房 2 階
※2022 年 7 月末、大阪府大阪市生野区桃谷 5 丁目 5－3 7 いくのパーク 2 階へ移転します。
設立：2019 年 6 月 30 日
事業内容：拠点づくり事業、学習支援・交流事業、調査・提言事業、多文化イベント事業
HP アドレス：https://www.ikunotabunkaflat.org/

問い合わせ先 NPO 法人 IKUNO・多文化ふらっと 金・康原 TEL：06-6741-1123 Mail：ikunotabunkaflat@gmail.com